

レインボーバラ共選組合「父の日」にあわせて 西尾市長・JA組合長へバラの花束贈る



レインボーバラ共選組合は6月21日の「父の日」を前に「西尾市のお父さん」代表である西尾市の中村健市長と、JA西三河の名倉正裕組合長へバラの花束(50本)を寄贈します。「父の日」に西尾市のシンボルフラワーであるバラを贈る習慣を広めようと消費拡大を目的に毎年行っています。

西尾市では、フラワーウォークやフラワーギフト販売会など生産者・市・JAが一体となった『花贈り』を進めており、花のある暮らしの定着に力を入れています。

■寄贈日程■

JA

【日時】6月17日(水) 13:30
【集合】JA西三河本店 3階役員室
(西尾市寄住町下田15番地)

西尾市役所

【日時】6月18日(木) 13:00
【集合】西尾市役所 3階応接室

《訪問する生産者》

レインボーバラ共選組合 山本圭悟組合長、大須賀隆記副組合長(両日)
手島成俊さん(17日)、成瀬克弘さん(18日)



左:JA組合長へ寄贈 / 右:中村市長へ寄贈



「父の日」向けのバラ集荷も行っています！！

バラの集荷作業のようすは、6月18日(木)11:45より
JA西三河めぐりセンター野々宮(西尾市野々宮町尾竹2-2)で
撮影していただけます。

(出荷場で取材希望の方は、前日までに企画課 尾形までご連絡をお願いします)

■6月の作柄 (6月12日現在)

4月以降は天候も安定しており日照も十分で、色つやのよいバラを出荷しています。6月に入ってから夜温が上がり、出荷量も例年並みに伸びています。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河(西三河農業協同組合)
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当:尾形怜美
TEL:0563-56-5214 担当者携帯:070-1414-6818
HP: <http://www.ja-nishimikawa.or.jp/> Eメール: kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関に発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

市のシンボルフラワー『バラ』生産概要

鮮度と日持ちが自慢！ 高品質のバラを届けるレインボー



西尾市を中心としたバラ生産者で組織するレインボーバラ共選組合では、一年を通じて鮮度の高いバラを取引生花市場へ出荷しています。

父の日におすすめの品種は、黄色の一輪咲き「ソラーレ」です



元々はアメリカで父の日にバラを贈る習慣が生まれましたが、日本ではベストファーザー賞の「イエローリボンキャンペーン」と合わせ、父の日＝黄色いバラのイメージが根付きました。

レインボーバラ共選組合

98種・約530万本のバラを周年生産し、愛知県内を中心に、関東・関西方面の市場へも出荷しています。

1993年発足以来、「地産地消」と「高品質」を重点に掲げており、**県内市場への販売額は県内一**。また発足当初より湿式輸送(水の入った容器で市場への輸送を行うこと)を全国に先駆けて採用するなど、鮮度への強いこだわりを持って生産しています。安定経営を背景に、後継者として若い生産者も就農。高品質のバラを将来にわたり出荷できる体制を整えています。



レインボーバラ共選組合の生産者ら



2018年4月には、日本花き生産協会の「花き日持ち性向上生産管理基準認証者」の認証を取得しました！！

【生産者部会情報】

名称：レインボーバラ共選組合

部会員数：15人・1法人 耕作面積：727^ア

流通先：愛知県内の市場（愛知県市場への流通量は県内1位）、および関東・関西方面の市場など9市場

取扱実績：98品種・約530万本出荷 販売金額：約4億円

収穫期：通年

【全国の生産概況】（平成30年度）

全国のバラ生産量：2億3600万本

愛知県のバラ出荷量：4330万本（全国1位、以下静岡県（2050万本）、山形県（1740万本））

データ：農林水産省 作況調査（花き）平成30年度確報

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/index.html#r